

## 2016年度 学術研究費研究課題(テーマ)一覧

所属	職	氏名	研究テーマ 等
初等教育学科	教授	春日作太郎	幼少期における養育者との関係不全を背景とした青年および成人の対人関係や子育ての障害の変容に及ぼす、表現技法を交えた小集団抛偶の効果について
	教授	佐藤隆	教育実践の基本構造の検討 ①子ども理解と学習指導 ②新たな教員文化の性質 ③恵那の生活綴方教育の歴史と現代的意義についての総合的な研究
	教授	清水雅彦	日本語を美しく載せる歌唱法の研究と実践
	教授	添田慶子	ダンスの美を求めての動きの習得
	教授	竹下勝雄	美術－絵画表現(ドローイング、ワーク)の制作と研究
	教授	田中昌弥	日本の教育学におけるナラティブ・アプローチの応用可能性についての研究
	教授	筒井潤子	現代自己心理学を コースワークにおいて系統的に学びなおすとともに、教育分析及びケーススーパービジョンを集中的に行い、理論の臨床的応用力をつける研究
	教授	寺川宏之	代数幾何における導来圏の研究
	教授	鳥原正敏	美術教育の可能性について-表現活動と鑑賞活動を通して-
	教授	中井均	富士火山を中心とした、南関東の火山噴出物の試料整理とデータベース作成 -その8-
	教授	中川佳子	自閉症スペクトラム障害(Autistic Spectrum Disorder;以下ASD)と注意欠如/多動性障害(Attention Deficit/Hyperactivity Disorder;以下ADHD)、定形発達者を対象に呼吸と情動、動作姿勢、嗅覚認知能力を評価し、それらの能力と障害の特質、言語的コミュニケーション能力、知的能力の関係を検討する。
	教授	藤本恵	大正期・昭和期に活動した女性詩人についての研究
	教授	別宮有紀子	富士山5合目におけるホシガラスの貯食行動がゴヨウマツの更新動態に与える影響

2016年度 学術研究費研究課題(テーマ)一覧

所属	職	氏名	研究テーマ 等
初等教育学科	教授	水口潔	運動実施者の感覚に基づく、新しい運動指導方法論の確立について
	教授	柳宏	大学運動部のマネジメント研究～都留文科大学女子バレーボール部の競技力向上と周辺環境に関して
	特任教授	青木宏希	教室の活用方法に特色のある図画工作科目で教室空間の有効な活用についての研究
	准教授	市原 学	注意欠陥多動性障害(ADHD)、双極性障害、及び重篤気分調節症の異同について検討する
	准教授	春日由香	児童詩創作指導の研究
	准教授	上原明子	①授業研究(Lesson Study)のあり方に関する質的な研究 ②学生の英語力向上についての研究 ③国際バカロレアについての研究
	准教授	平 和香子	①大学生の被服製作に関する基礎技能の実態 ②被服構成における縮尺モデル製作の取り組み ③幼稚園、保育園、小学生を対象とした絵本を用いた食育の有効性 ④各種水耕栽培キットを用いた野菜栽培の食味比較及び教育現場での食育推進利用の検討 ⑤テーブルコーディネートを用いた食意識の改善
	准教授	平野耕一	①宇宙論的将来観測によるニュートリノ質量への制限の精度について ②素粒子理論に基づく宇宙初期のインフレーション
	准教授	山森美穂	PANSYレーダーおよびラジオゾンデのデータを用いた南極沿岸域対流圏下圏の水蒸気動態の研究
	特任准教授	布山浩司	図工・美術教育におけるデジタル利用の広がりについて—表現・鑑賞活動—
	講師	岡野恵司	岩澤理論と暗号理論の研究
	講師	堤英俊	知的障害教育の場に通う〈グレーゾーン〉の子どもの生活世界に関する研究
	講師	十川菜穂	【ピアノデュオリサイタル開催】ピアノデュオによる、オーケストラの演奏表現を追及する。広く鑑賞の機会を設け、クラシック芸術音楽へのさらなる理解を深める。【小学校音楽教育について】都留市立宝小学校5年生のクラスの今の音楽能力を調査し、4回のトレーニングで能力の向上を図る。同時に器楽合奏を仕上げていくことで、音楽の授業が児童に与え得る可能性を探る。

## 2016年度 学術研究費研究課題(テーマ)一覧

所属	職	氏名	研究テーマ 等
国文学科	教授	加藤浩司	国語学(古代日本語の文法、語彙、文体を対象とした研究、および国語資料研究)
	教授	佐藤明浩	中世歌書の文献学的研究
	教授	鈴木武晴	日本上代文学とその享受史の研究 ①万葉集を中心とする日本上代文学の研究 ②日本上代文学の享受史の研究
	教授	寺門日出男	懐徳堂学派の研究 ①『非伊編』の分析 ②〈五井蘭洲先生講義筆記〉五十六種についての検討
	教授	古川裕佳	日本近代文学における方法としての医学知識の導入についての検討
	教授	加藤敦子	江戸時代の演劇と社会・文化
	准教授	長瀬由美	『源氏物語』を中心とする平安朝仮名文学作品と平安朝漢詩文作品とにおける、中国文学(特に中唐文学)受容の問題について
	准教授	野口哲也	日本近代文学の領域横断的研究
	准教授	菊池有希	1.バイロン需要の日英比較の比較文学的・思想史的研究 2.近代日本文学・思想におけるカーライル受容の比較文学的・思想史的研究
	准教授	野中潤	①ICTを活用するための教育用のプラットフォームによって広がる学びの可能性を生かす国語科の教材開発 ②将来の予測が困難な複雑で変化の激しい社会において、どのような国語科の教材が必要か、歴史的な変遷も視野に入れながら検討する ③音声素材を教材として扱うための基礎研究
	講師	田口麻奈	1950年代の日本の戦後詩の展開を資料面から裏付けるとともに、戦後詩を代表する詩人である鮎川信夫の詩と持論を思想的文脈に照らして解明する。
英文学科	教授	今井 隆	言語の起源と進化に関する遺伝子探求のための基礎的研究
	教授	大平栄子	タゴールのインド英語文学研究を起点にした日本語文学研究

## 2016年度 学術研究費研究課題(テーマ)一覧

所属	職	氏名	研究テーマ 等
英文学科	教授	儀部直樹	ジェイムズ・アラン・マクファーソン研究
	教授	竹島達也	現代アメリカ演劇の作品を演劇・文学・歴史文書としての側面から多角的に研究
	教授	中地 幸	アジア系アメリカ文学およびアフリカ系アメリカ文学の研究
	教授	福島佐江子	ポライトネス研究:メタ語用論的考察
	教授	鷲直仁	単著『英語と異文化理解』の再検討
	教授	奥脇奈津美	第二言語使用者の定型的言語表現の習得に関する研究
	准教授	加藤めぐみ	ブルームズベリー・グループと音楽文化—ミドルブラウ文化とハイブラウ文化の間で
	准教授	H.Gillies	I intend to focus this year on development in British and American varieties of English, comparing and contrasting these two major Englishes.
	准教授	三浦幸子	教室内言語習得研究および教師教育(Classroom research and teacher education)
社会学科	特任准教授	H.Evans	・理論的分野-潜在意識の中に存在する文法知識とはどんなものか ・実用的側面-言語学習をどこまで適切なツールを使って促進することができるのか追及
	教授	黒崎 剛	ヘーゲルの著書、思想に関する研究
	教授	進藤 兵	①現代日本の地方自治に関する研究 ②東京地域における地方政治と経済社会構造との関連についての考察 ③政治学方法論及びこれをふまえた欧州政治動向についての研究
	教授	高田 研	1.日本の公害教育に関する研究 2.幼児期の環境教育の研究 3.持続可能な地域づくりの事例研究

## 2016年度 学術研究費研究課題(テーマ)一覧

所属	職	氏名	研究テーマ 等
社会学科	教授	高橋 洋	地域主導のエネルギー事業と自治体の役割に関する研究:再生可能エネルギー、小売自由化に注目して
	教授	田中里美	(1)地域社会学、地域福祉学分野の研究の推進 (2)海外の地方/地域の現状の把握(特にフィンランドについての情報収集)
	教授	野畑真理子	米国企業と日本(における)企業のダイバーシティとインクルージョン(D&I)の特質を明らかにし、日本企業でD&Iを進展させるためには何を考え、実施しなければならないのかを明らかにする。
	教授	平林祐子	東日本大震災の社会的影響および関連する社会運動についての環境社会学的研究
	准教授	菊池信輝	日本の戦後社会民主主義における国家介入
	准教授	准教授・両角政	地域経済の構造変動の諸相と地域活性化に関する研究
	講師	小島 恵	化学物質関連法の体系的整理
	講師	富永貴公	生涯学習社会におけるセクシュアリティへの配慮
	講師	福島万紀	山村地域における農林業の担い手の動向に関する研究
比較文化学科	教授	伊香俊哉	植民地支配・戦争における被害と加害の重層的関係性の検討
	教授	大辻千恵子	1.アメリカ合衆国における大量拘禁制度が生み出す諸相 2.ブラック・フェミニズムの諸相 3.大量拘禁社会とブラック・カルチャー
	教授	辺 英浩	東アジアの共通善についてのテキストの刊行 東アジアでの現代のふつうの社会構造と思想との関係を探る
	教授	分田順子	分断社会/多文化社会で活動する市民社会組織(CSO)の国際比較研究—紛争後の社会再建/共生を目指すコミュニティ・ドラマ・グループを中心に(継続)

## 2016年度 学術研究費研究課題(テーマ)一覧

所属	職	氏名	研究テーマ 等
比較文化学科	教授	山本芳美	1.「明治期・大正期・昭和期に国内外で活動した彫師に関する実証的研究」の成果発表準備 2.「植民地時代以降の台湾原住民の画像・映像資料の鑑定と情報集成及び人類学的考察」 3.「戦後石垣島北部開拓とその集落形成についての聞き書き」
	准教授	内山史子	1935年に成立した自治政府フィリピン・コモンウェルズの教育政策に焦点を当て、学校教育で何が「国民文化」とされたのかを明らかにし、フィリピンの人びとが植民地支配の歴史を自らの歴史や文化にどのように組み込んだのかを解明する
	准教授	岸 清香	「アジア美術」という芸術生産－1990年代以降の想像力
	准教授	佐藤 裕	①南アジア研究、社会学、国際開発論の3分野における最近の研究動向の把握 ②本研究と関連がある成果の発信 ③国内での研究者との交流
	准教授	志村三代子	調査・分析に着手→関係者インタビュー、翻訳・日本語字幕の依頼と作成→国内/海外における研究の発表。
情報センター	准教授	日向良和	①教育、読書、図書館サービスにおけるICT活用事例、アクティブ・ラーニングについての事例研究 ②学校教育の中で図書館を活用する実践・方策(H24～)
COC推進機構	特任教授	内山美恵子	都留市域の水環境を保全するために必要なデータセットを揃え、地下水の流動経路と水収支を把握する
	特任教授	北垣憲仁	小型野生哺乳類の観察装置の開発
	特任教授	品田笑子	「教育力のある学級集団育成の方法の研究:その2」～学級集団育成の支援を通じた効果的な教師サポートのあり方～
	准教授	山口博史	人口減少時代の地域生活と交流人口に関する調査研究
国際交流センター	特任教授	中島康雄	日本語母語話者である大学生の日本国内での英語(EFL)学習における、教育方法の差異による英語音声上の教育効果を調査研究する
	特任講師	和田望	映像・音声教材を用いた効果的な授業実践と教材作成の研究
	特任准教授	岡部真理子	①特殊なニーズを持つ交換留学生への支援について ②チューターとして交換留学生を支援する日本人学生学びや気づきについて

2016年度 学術研究費研究課題(テーマ)一覧

所属	職	氏名	研究テーマ 等
国際交流センター	特任准教授	桑原奈智子	①中国語と多言語を音韻および構造面で比較研究するための知見を得る ②現在の中国語に関する研究動向の現状の視察 ③中国人の子供の言語活動の事態の把握
	特任准教授	周 非	日本近代文学研究・日中比較文学研究・中国語教育
	特任講師	宮城 スサナ	「ペルーにおける日本人の存在 XVII～XX世紀」の研究
教職支援センター	特任教授	金山光一	・学力向上をはかる小学校から大学まで一貫したアクティブ・ラーニングの構築 ・世界と日本の小学校の授業研究
	特任教授	宮下 聡	思春期と向き合う指導、子どもの権利としての教育・指導のあり方についての研究
	特任講師	亀田孝夫	SAT(Student Assistant Teacher)及び教育実習による教師としての力量形成の研究
新学科準備室	教授	茂木秀昭	①探求型の教育手法としてのディベートや議論を通じた教育を、小・中・高から大学までの各段階で、どのように導入、活用することで、学習上の連携がより良くなり、学習効果も上がるか ②国際バカロレア教育において主眼である、クリティカル・シンキングを、ディベートの手法等を用いてどのように効果的に養成できるか
	講師	Karl Johan Nordstrom	日本初のトーキー映画製作所であるピー・シー・エル(Photo Chemical Laboratory)の歴史的展開と昭和初期に興隆する「モダニティ」という概念と、それに付随する大衆文化の形成についての考察